

# Press Release



# 滋賀大学

送信先：大津・彦根地区報道機関 全4枚

報道関係者 各位

令和4年5月18日 発信

[10時00分]

【発信元】：滋賀大学 広報課

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1-1-1

TEL 0749-27-7524 FAX 0749-27-1129

E-Mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp

## 経済学部と生命保険協会 寄付講座の覚書を締結 －秋学期に「ファイナンス・システム特殊講義」を開講－

経済学部（学部長：中野桂）は、一般社団法人生命保険協会（東京都千代田区、会長：高田幸徳氏）と寄付講座の開講に関する覚書を締結し、秋学期から経済学部専門科目「ファイナンス・システム特殊講義（生命保険を考える）」（添付資料参照）を開講します。

授業実施に先立ち、以下のとおり寄付講座に関する覚書の調印式を行います。

### 寄付講座に関する覚書の調印式

日 時：令和4年5月26日（木）14時00分～

場 所：滋賀大学彦根キャンパス 本部管理棟3階 大会議室  
滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号

出席者：（生命保険協会）伊藤英寿理事事務局長、藤川幸一滋賀県協会会長、  
難波英裕滋賀県協会事務局長

（滋賀大学経済学部）中野桂学部長、坂野鉄也副学部長、坂田雅夫教授

生命保険協会は、金融リテラシー向上や保険教育の普及を目的に、各地の大学と協力して生命保険の実学を学ぶ授業を実施しています。経済学部では、保険市場における理論と実践に精通する実務家教員による専門科目を開講することで、専門職業人の養成を目的とするカリキュラムの一層の充実を図ります。講義では社会保障制度の概要、保険商品の仕組み、運用及びリスク管理等を取り上げ、グループディスカッションなども取り入れながら生命保険の仕組・役割等に加えて、18歳成人となった今後の社会で必要とされる知識・考え方の習得を目指します。

### ◆取材に関するお願い

ご出席の際には、5月25日（水）正午までに、別紙「取材参加申込書」を、本学広報課宛にFAX送信いただけますと幸いです。

### 【リリースに関するお問い合わせ先】

滋賀大学経済学部・デジタル学部共通事務部 橋本

TEL : 0749-27-1039

E-Mail : kkikaku@biwako.shiga-u.ac.jp



# 滋賀大学

〈送付先〉 滋賀大学広報課 宛      〈FAX〉 0749-27-1129

取材にお越しいただける報道関係者の方は、恐れ入りますが、**5月25日（水）正午までに**参加者のお名前等を滋賀大学広報課までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

## 取材参加申込書

### 滋賀大学経済学部と生命保険協会との 寄付講座に関する覚書の調印式

日 時 : 令和4年5月26日（木） 14時00分～  
場 所 : 本学彦根キャンパス 本部管理棟3階 大会議室  
(彦根市馬場1丁目1番1号)

貴社名	
所属記者クラブ	
お名前	
お名前	
お名前	
ご連絡先 電話番号	( )
取材形態	ご来場の方が該当する区分に✓を記入してください。 <input type="checkbox"/> 記者 <input type="checkbox"/> スチールカメラマン <input type="checkbox"/> TVカメラマン <input type="checkbox"/> カメラ助手 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## ファイナンス・システム特殊講義資料

### ◆担当教員

一般社団法人 生命保険協会、滋賀大学 坂田 雅夫 教授

### ◆授業の目的と概要

授業では、まずは日本の公的保障（社会保障制度）について概観します。その上で、少子・高齢化社会の進展等により、表面化している社会保障制度の課題を背景に、「私的保障としての『生命保険』の意義、自助努力の必要性・有効性等」について、理解と考察を深めていきます。そして、生活の様々な局面に潜む「リスク」を理解し、回避・抑制する手段の一つである「生命保険の仕組・役割等」について学びます。更には、持続可能な社会を営む一員、消費者として、役立つ知識・考え方の習得を目指します。

上記目的のために、実務家（生命保険会社の販売職・管理職・役員等を歴任し、幅広い知識と経験を有する）が講師・ゲストスピーカーとなり、経験談や最新情報も織り込み、理論と実践とのバランスを意識して授業を行います。

### ◆授業の到達目標

1. 社会保障制度の概要やその主な保障内容を理解し、説明することができる。
2. 現代生活に潜むリスク、生命保険の意義・役割、基本的な仕組等を理解し、説明することができる。
3. 大学生として、公的保障と私的保障のあるべき姿等について、自分なりの考察を加えて整理し、説明することができる。

### ◆授業計画

1. オリエンテーション・「生命保険を考える」総論
2. 生活設計とリスク管理（資料として生命保険文化センターの「生活設計とリスク管理」を使用）
3. 生命保険の種類①—死亡保障
4. 生命保険の種類②—医療保障
5. 生命保険の種類③—老後保障・介護保障
6. 生命保険契約の仕組み
7. 生命保険と税金
8. 生命保険に関する調査・前半の総括
9. 生命保険と運用
10. 生命保険商品の変遷・動向

11. トラブル対応（金融ADR制度）
12. 生命保険会社の組織と業務
13. 災害への対応（大震災に対する生命保険業界の対応を中心に）・気候変動問題が与える影響等
14. グループディスカッションまたは個人ワーク・最終総括
15. 隣接業界
16. 定期試験

※受講生の理解度、ゲストスピーカーの都合等に応じて、内容・順番を見直す場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、本授業の全てまたは一部をオンラインに変更する場合があります。

#### ◆成績評価の方法

1. 毎回実施の小テスト・アンケート・小レポート：4割
2. 期末試験：6割

#### ◆備考

(一社)生命保険協会から派遣される、生命保険業に携わる実務経験のある講師陣とゲストスピーカーにより、オムニバス形式の講義を行います。

大手生命保険会社に勤務した役員・販売職・管理職経験者等が、実務と経験を活かし、理論と実践のバランスを意識して講義を行います。

#### \*参照ホームページ

(一社)生命保険協会ホームページ：<http://www.seiho.or.jp/>